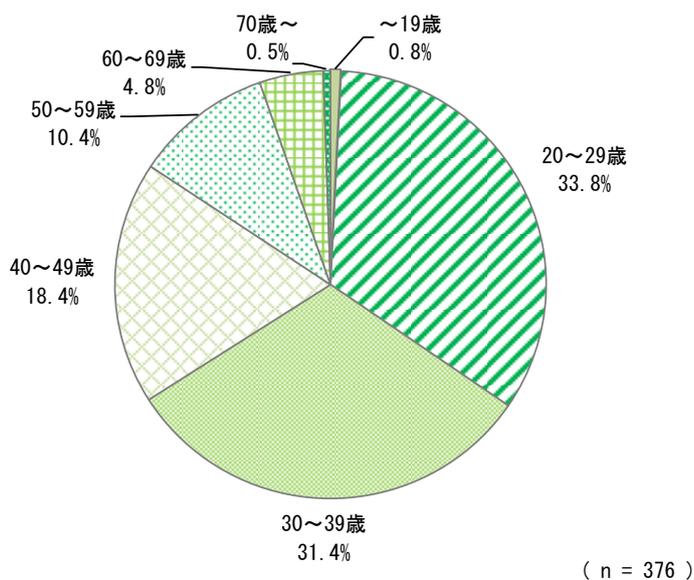


1 外国人住民向け調査

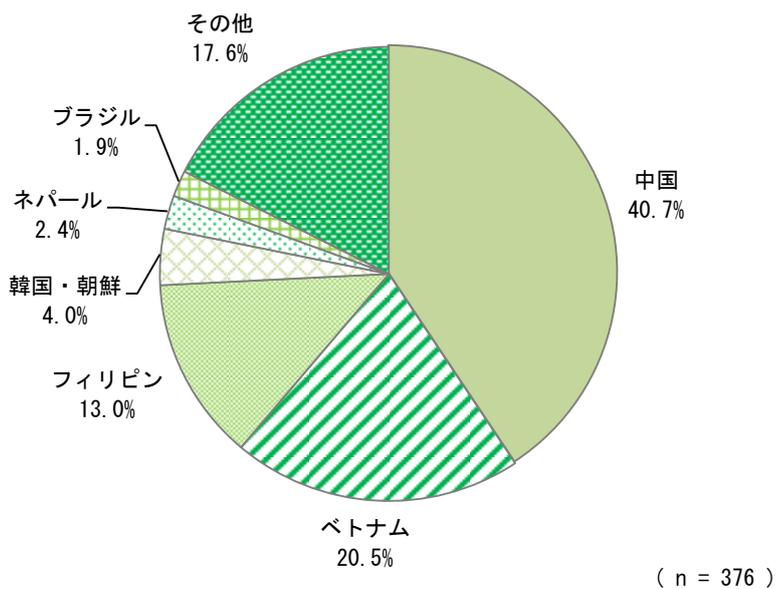
（1）年齢

「20～29歳」が33.8%、「30～39歳」が31.4%、「40～49歳」が18.4%となっている。



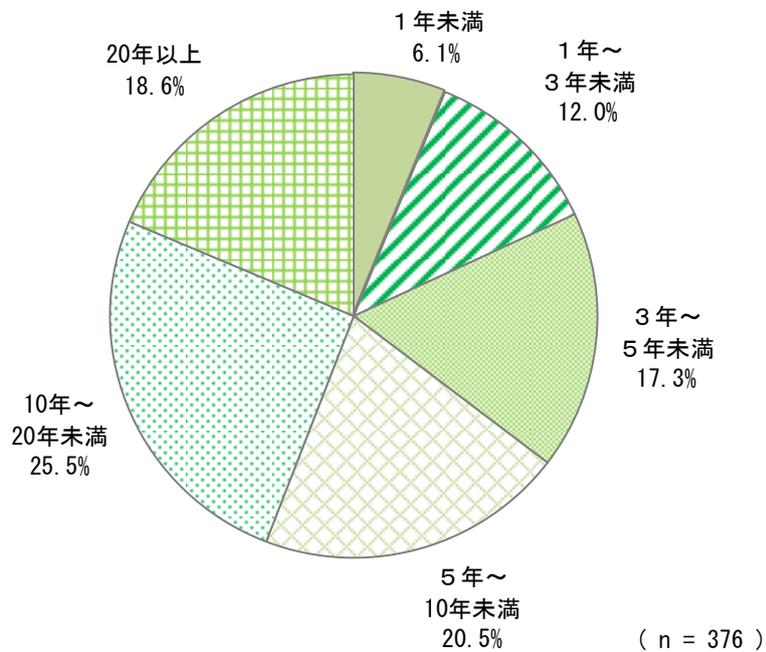
（2）国籍

「中国」が40.7%で最も高く、次いで「ベトナム」が20.5%、「フィリピン」が13.0%となっている。



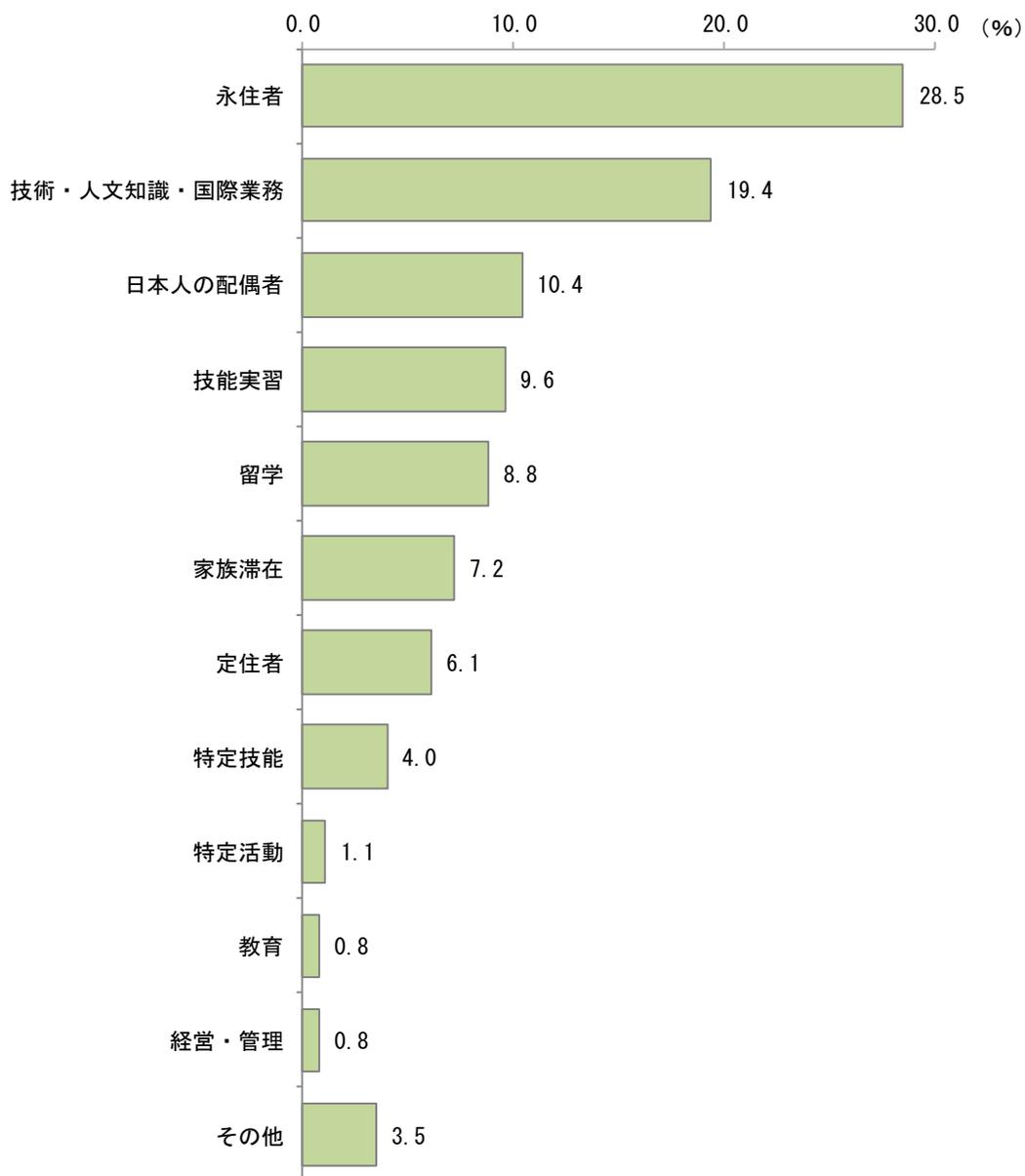
(3) 居住年数

「10年～20年未満」が25.5%、「5年～10年未満」が20.5%、「20年以上」が18.6%、「3年～5年未満」が17.3%、「1年～3年未満」が12.0%となっている。



(4) 在留資格

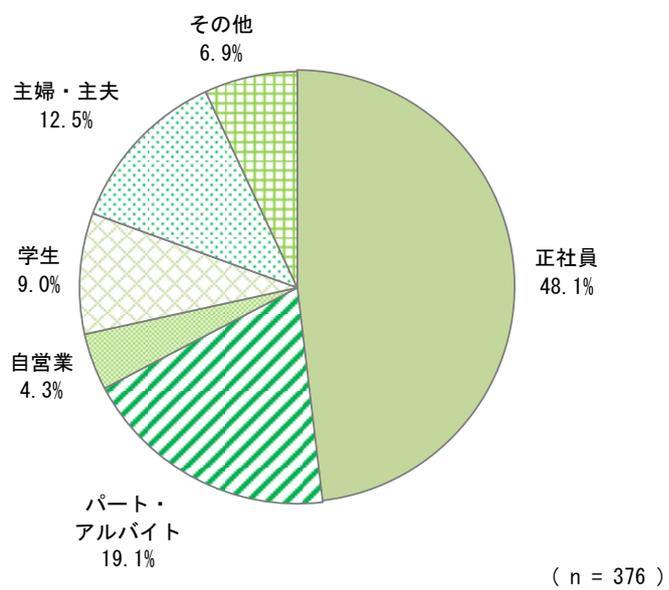
「永住者」が28.5%で最も高く、次いで「技術・人文知識・国際業務」が19.4%、「日本人の配偶者」が10.4%となっている。



(n = 376)

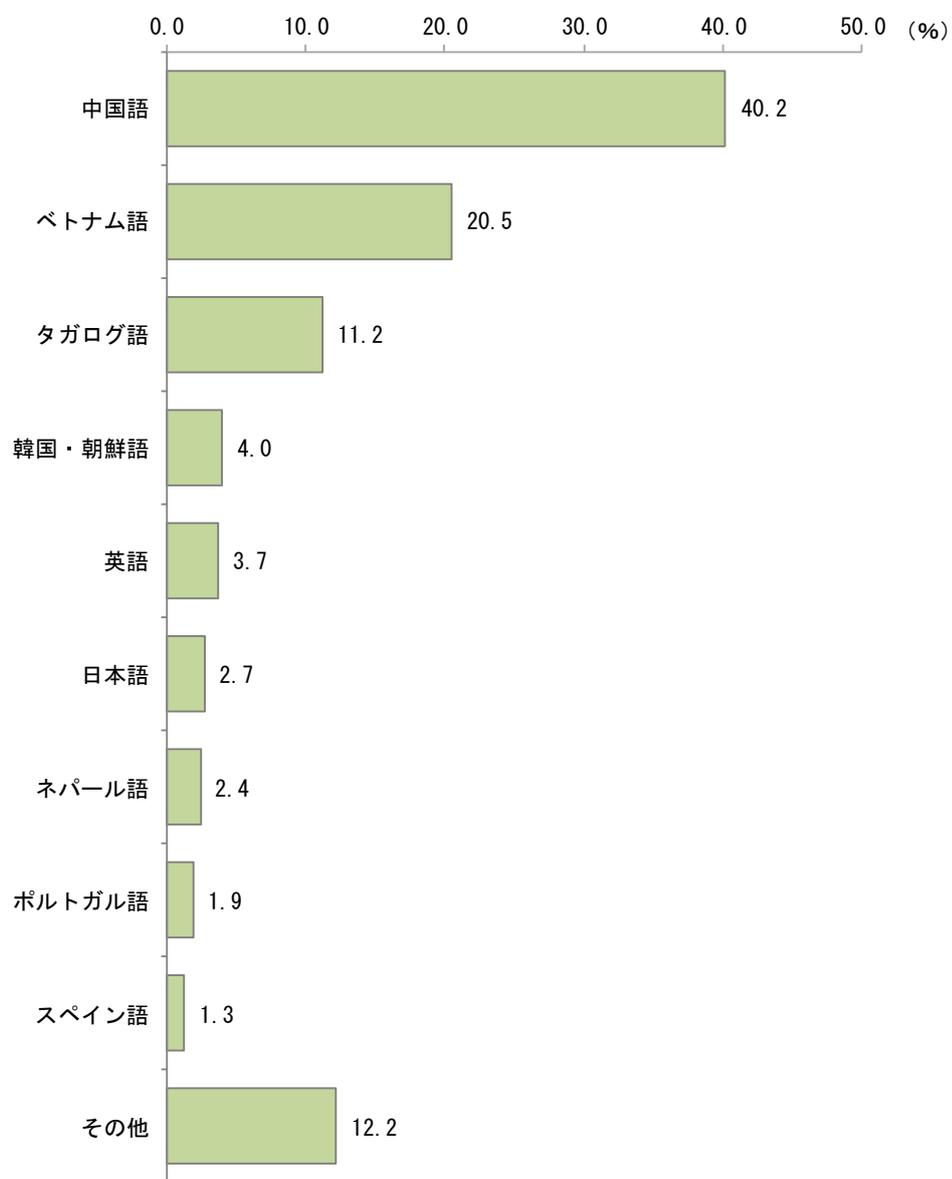
(5) 職業

「正社員」が48.1%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が19.1%、「主婦・主夫」が12.5%となっている。



(6) 母国語

「中国語」が 40.2%で最も高く、次いで「ベトナム語」が 20.5%、「タガログ語」が 11.2%となっている。

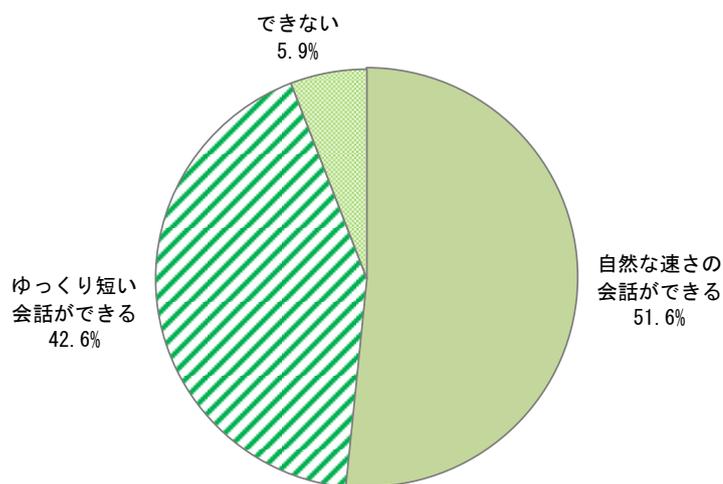


(n = 376)

(7) 日本語能力

Q 1. あなたは日本語でどれくらい会話ができますか。(ひとつだけ)

「自然な速さの会話ができる」が51.6%、「ゆっくり短い会話ができる」が42.6%となっている。

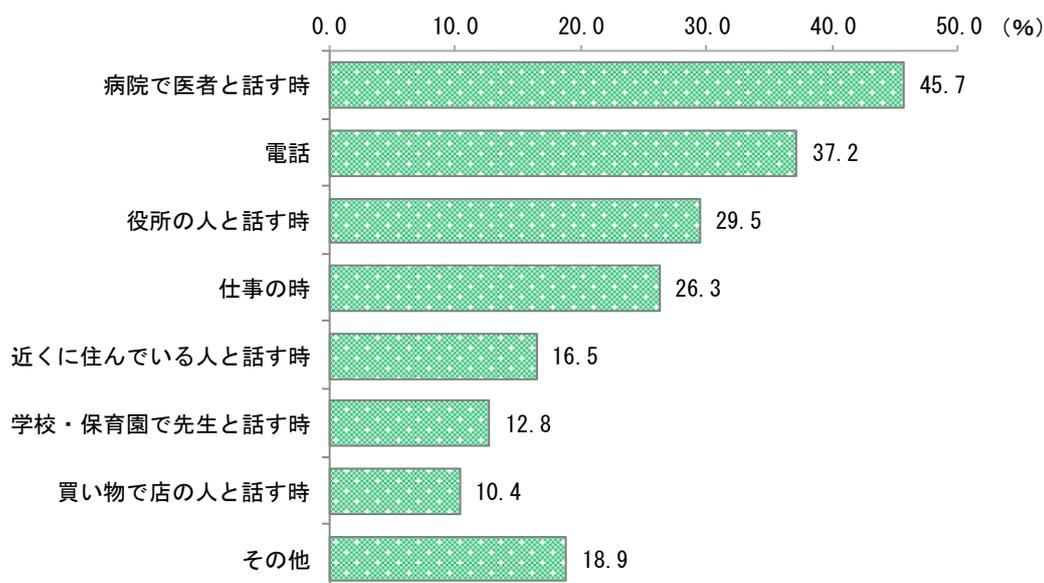


(n = 376)

(8) 日本人と話す時に困ること

Q 2. 日本人と話して、困った時は、次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

「病院で医者と話すと時」が45.7%で最も高く、次いで「電話」が37.2%、「役所の人と話すと時」が29.5%、「仕事の時」が26.3%と続いている。

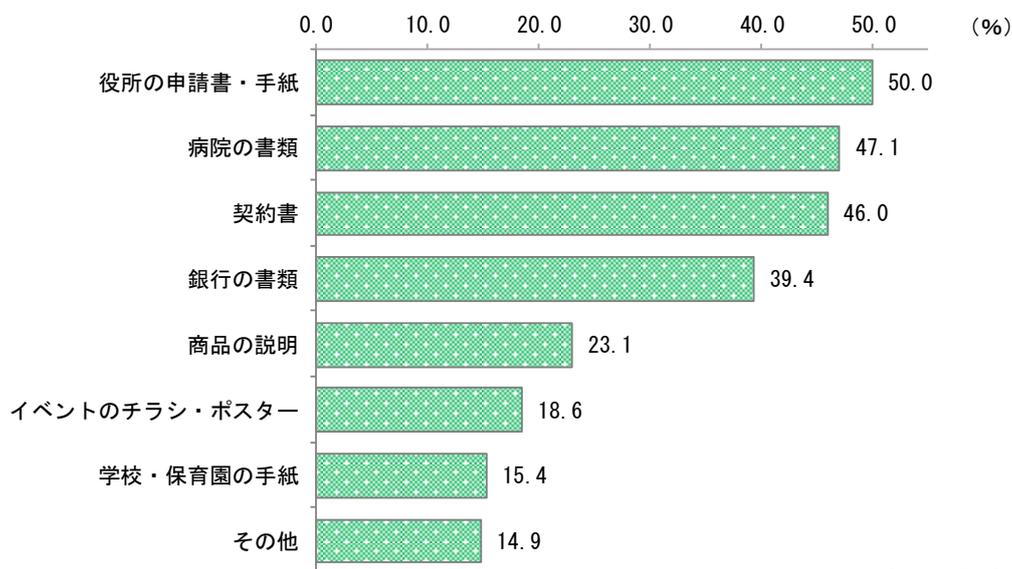


(n = 376)

(9) 日本語を読む時に難しいこと

Q 3. 日本語を読む時に難しかったのは、次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

「役所の申請書・手紙」が50.0%で最も高く、次いで「病院の書類」が47.1%、「契約書」が46.0%、「銀行の書類」が39.4%と続いている。

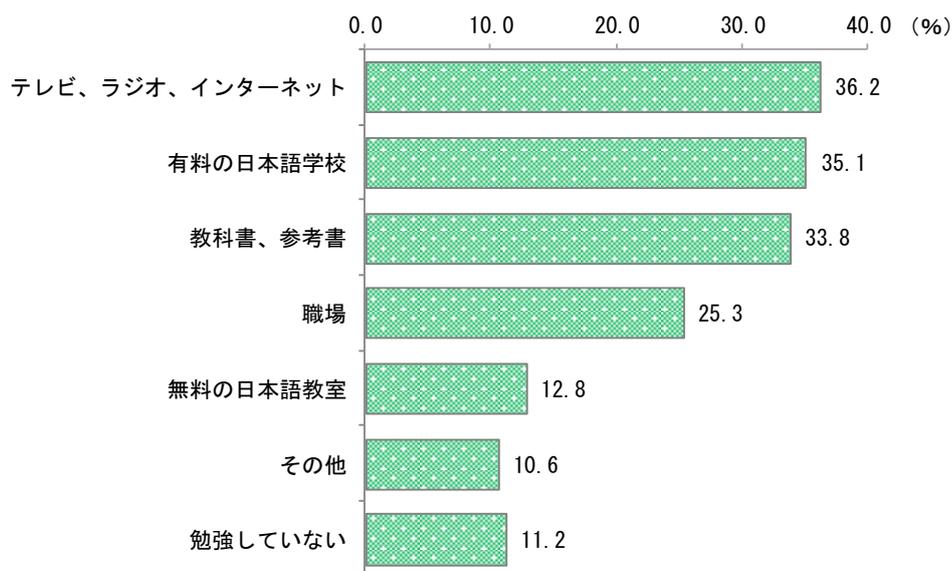


(n = 376)

(10) 日本語の勉強方法

Q 4. あなたは、どうやって日本語を勉強していますか。(あてはまるものぜんぶ)

「テレビ、ラジオ、インターネット」が36.2%で最も高く、次いで「有料の日本語学校」が35.1%、「教科書、参考書」が33.8%、「職場」が25.3%と続いている。

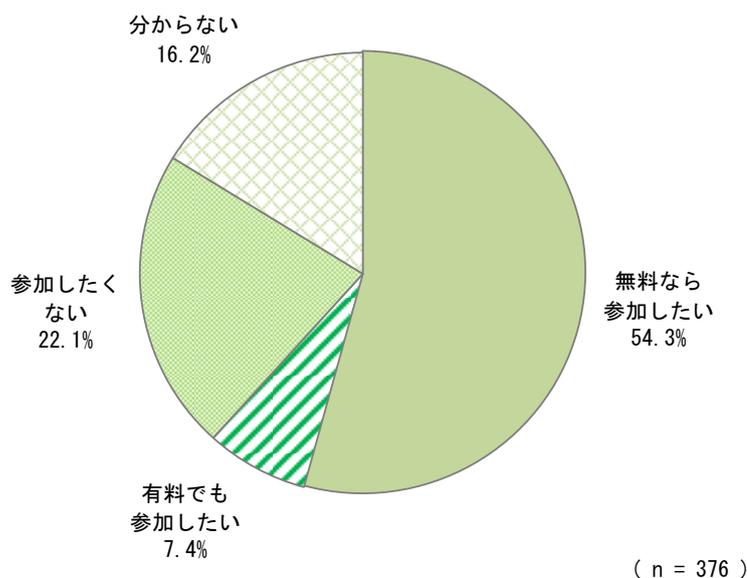


(n = 376)

(11) オンライン日本語教室への参加意向

Q 5. オンライン日本語教室があったら参加したいと思いますか。(ひとつだけ)

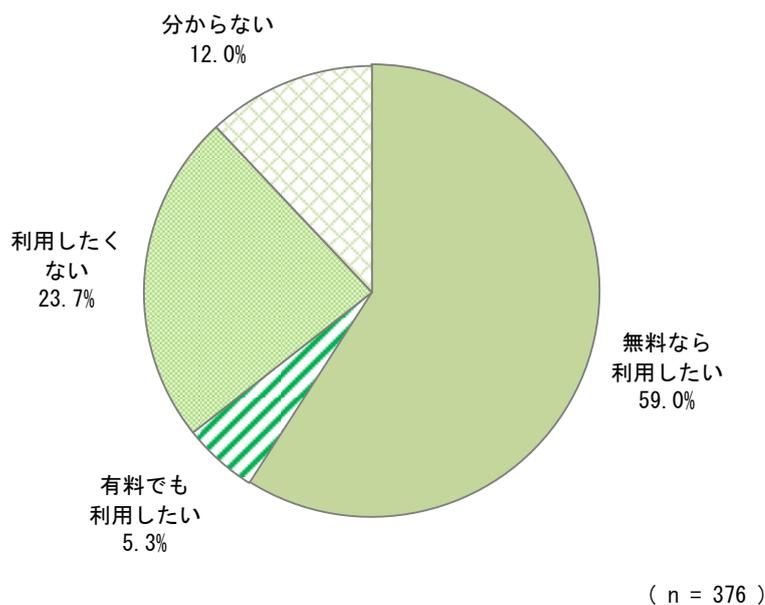
「無料なら参加したい」が54.3%となっている。
一方、「参加したくない」が22.1%となっている。

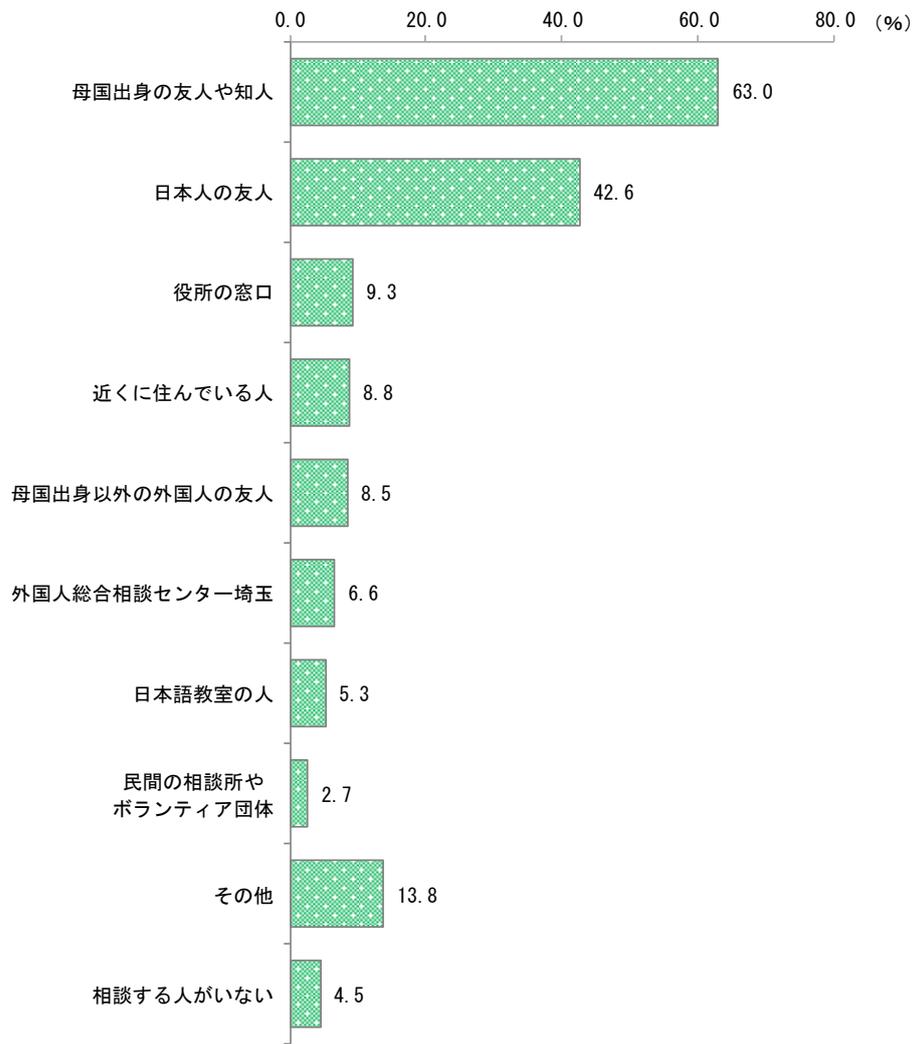


(12) オンライン通訳サービスの利用意向

Q 6. オンラインでの通訳サービスがあったら利用したいと思いますか。(ひとつだけ)

「無料なら利用したい」が59.0%となっている。
一方、「利用したくない」が23.7%となっている。



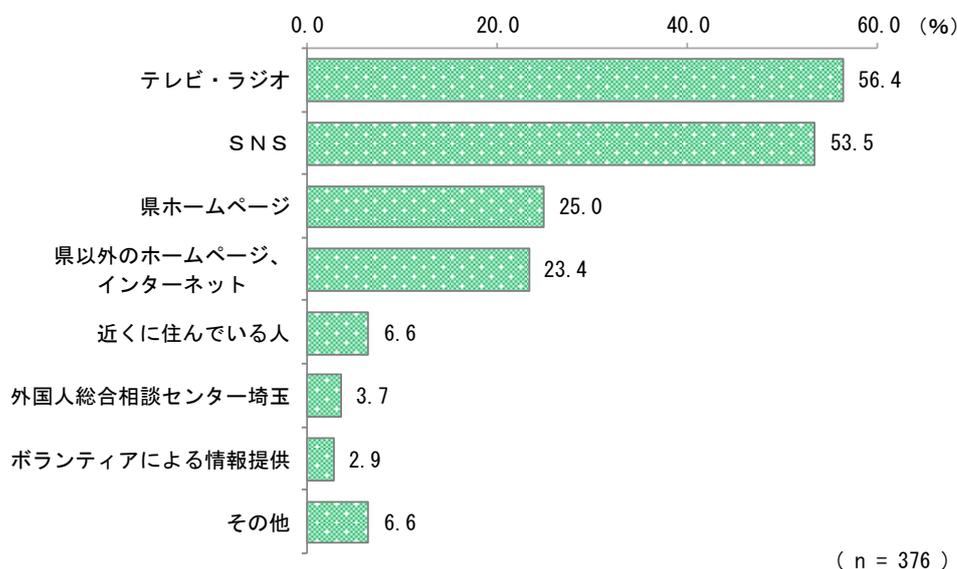


(n = 376)

(14) 災害や感染症についての情報の入手先

Q 8. 災害や感染症についての情報を、どのように受け取っていますか。(あてはまるものぜんぶ)

「テレビ・ラジオ」が 56.4%、「SNS」が 53.5%となっている。

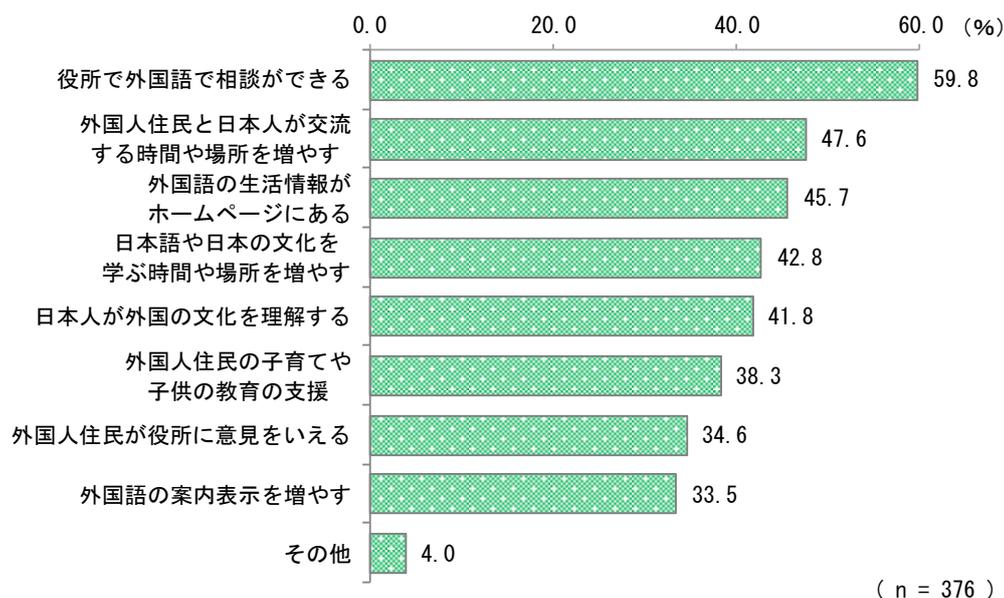


(15) 外国人住民が暮らしやすい地域にするために必要なこと

Q 9. 外国人住民が暮らしやすい地域にするために何が必要だと思いますか。

(あてはまるものぜんぶ)

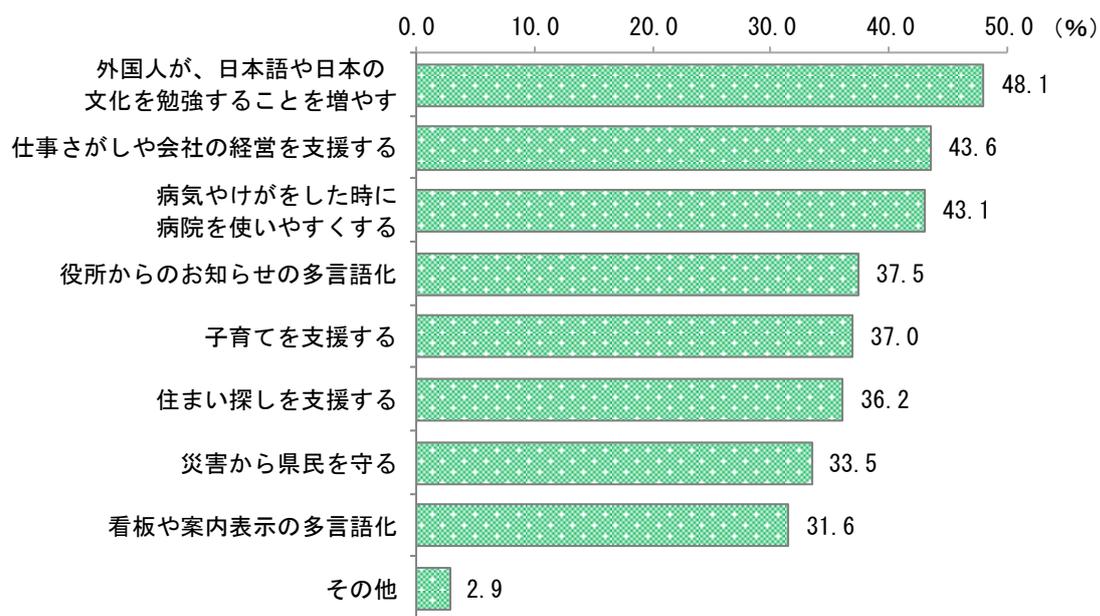
「役所で外国語で相談ができる」が 59.8%で最も高く、次いで「外国人住民と日本人が交流する時間や場所を増やす」が 47.6%、「外国語の生活情報がホームページにある」が 45.7%、「日本語や日本の文化を学ぶ時間や場所を増やす」が 42.8%、「日本人が外国の文化を理解する」が 41.8%と続いている。



(16) 役所に求めること

Q10. 役所にしてほしいことは何ですか。(あてはまるものぜんぶ)

「外国人が、日本語や日本の文化を勉強することを増やす」が 48.1%で最も高く、次いで「仕事さがしや会社の経営を支援する」が 43.6%、「病気やけがをした時に病院を使いやすくする」が 43.1%、「役所からのお知らせの多言語化」が 37.5%、「子育てを支援する」が 37.0%と続いている。

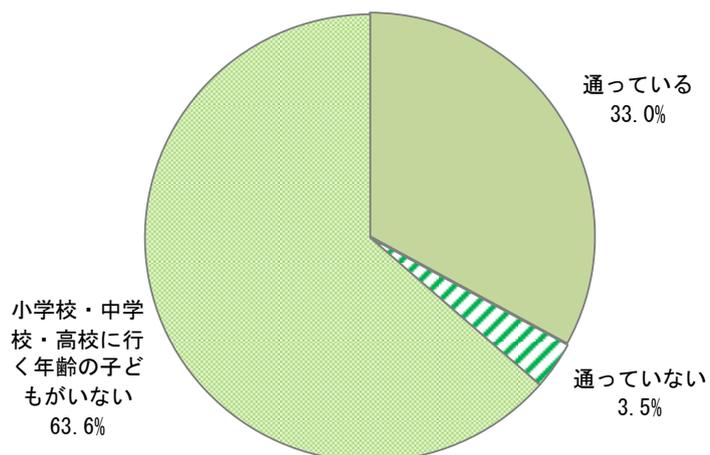


(n = 376)

17) 学齡期の子どもの有無

Q11-1. 家族に小学校・中学校・高校に行く年齢の子どもがいる人に聞きます。
学校に通っていますか。(ひとつだけ)

「小学校・中学校・高校に行く年齢の子どもがいない」が 63.6%で最も高くなっている。一方、「通っている」が 33.0%、「通っていない」が 3.5%となっている。

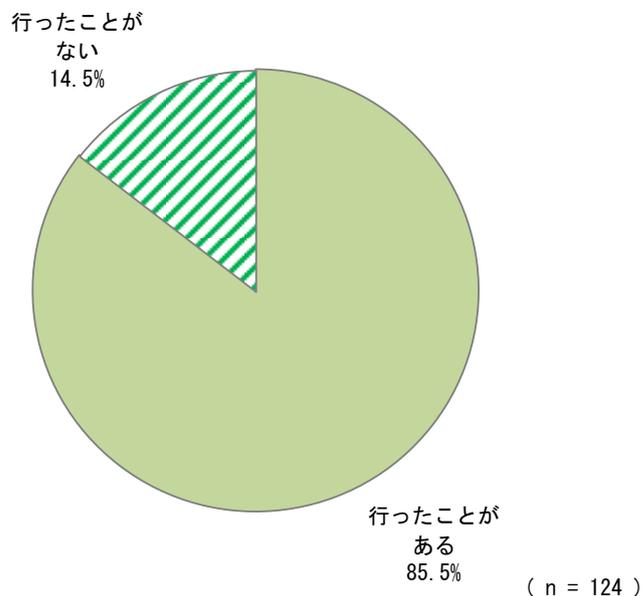


(n = 376)

(18) 子どもの学校へ行ったことがあるか

Q11-2. 子どもの学校へ行ったことがありますか。(ひとつだけ)

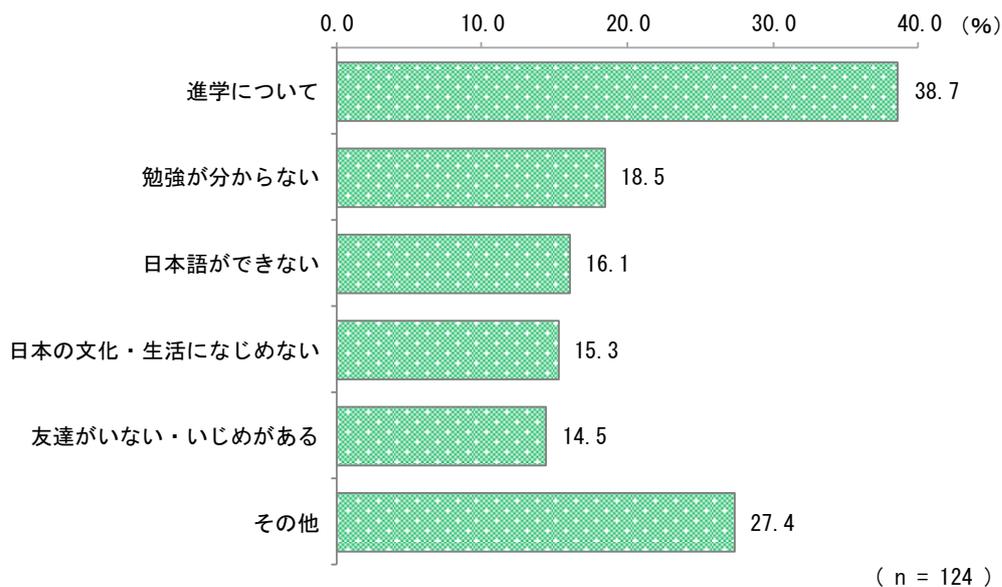
「行ったことがある」が85.5%となっている。



19) 子どもの教育で困ったこと

Q11-3. 子どもの教育で困ったことはありますか。(あてはまるものぜんぶ)

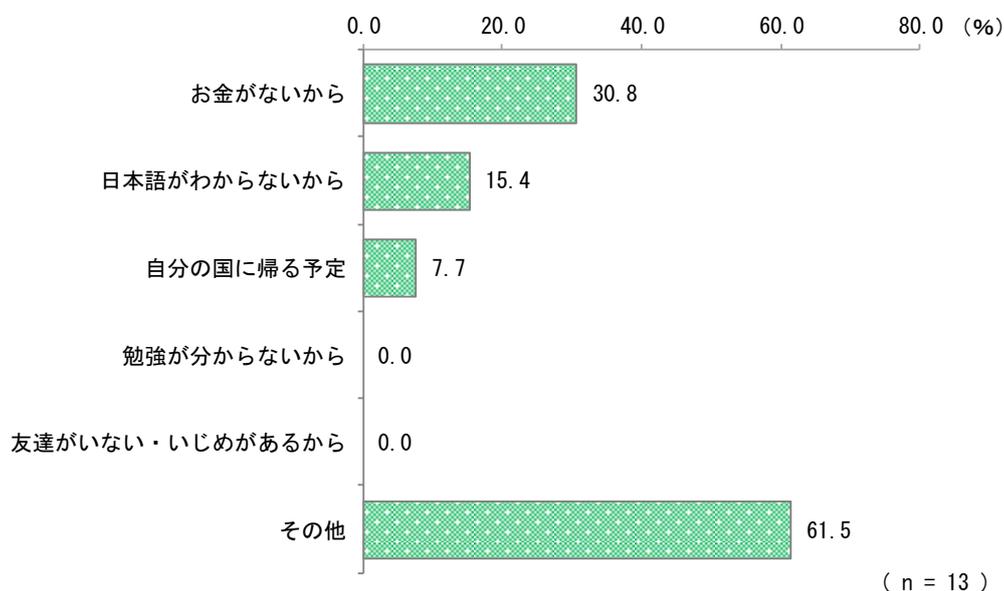
「進学について」が38.7%で最も高く、次いで「勉強が分からない」が18.5%、「日本語ができない」が16.1%、「日本の文化・生活になじめない」が15.3%、「友達がいない・いじめがある」が14.5%となっている。



20) 子どもが学校に通っていない理由

Q11-4. なぜ学校に通っていないのですか。(あてはまるものぜんぶ)

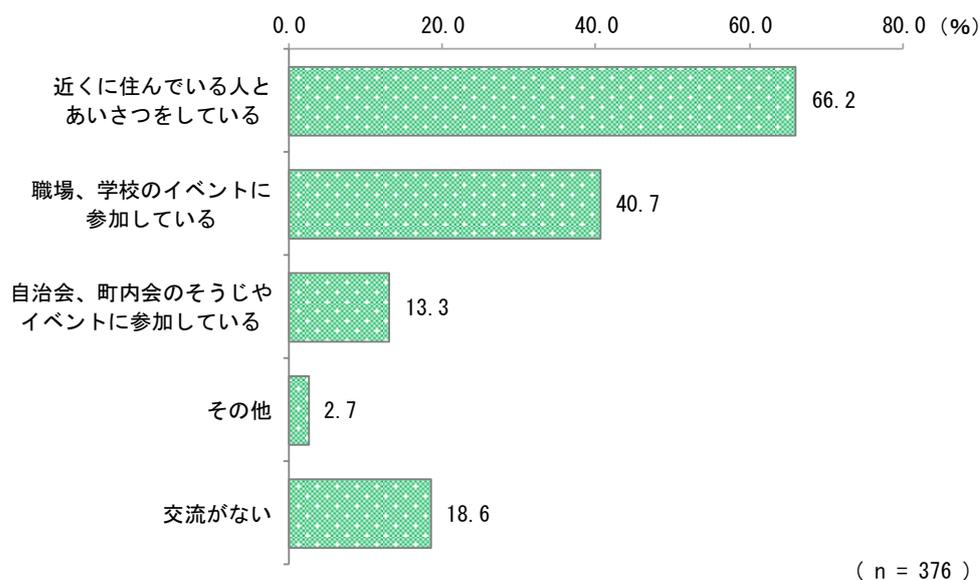
子どもが学校に通っていない理由は、回答者数が少ないため、参考として掲載する。



21) 地域での日本人との交流

Q12-1. 住んでいる地域で、日本人とどのような交流をしていますか。(あてはまるものぜんぶ)

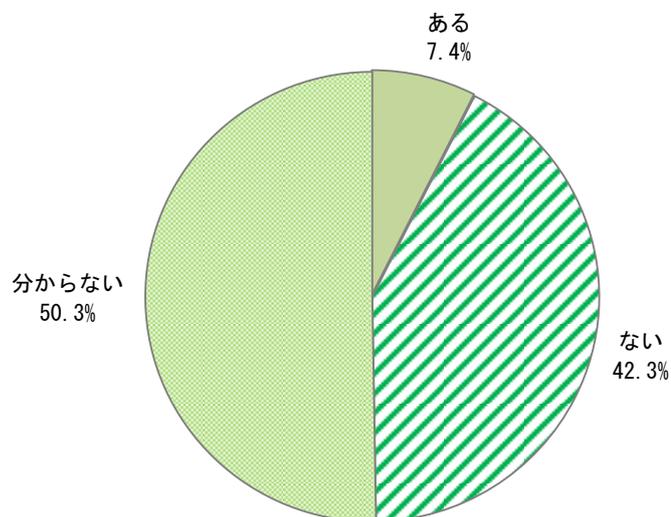
「近くに住んでいる人とあいさつをしている」が 66.2%で最も高く、次いで「職場、学校のイベントに参加している」が 40.7%となっている。



(22) 同じ国・宗教の人たちのコミュニティの有無

Q12-2. 住んでいる地域で同じ国の人や同じ宗教の人たちのコミュニティはありますか。
(ひとつだけ)

「ある」が7.4%、「ない」が42.3%、「分からない」が50.3%となっている。

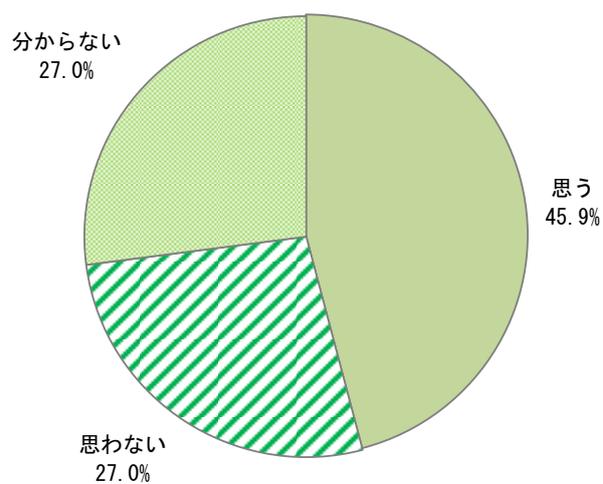


(n = 376)

(23) 同じ国・宗教の人たちのコミュニティの利用意向

Q12-3. 住んでいる地域で同じ国の人や同じ宗教の人たちのコミュニティがあったらよいと思えますか。(ひとつだけ)

「思う」が45.9%、「思わない」及び「分からない」がともに27.0%となっている。

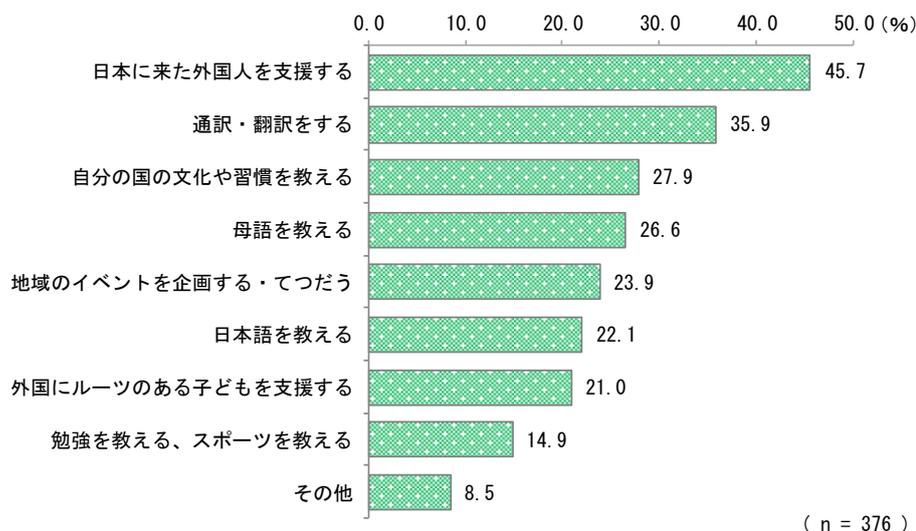


(n = 159)

4) 今後やってみたいと思う活動

Q13. 今後やってみたいと思う活動は次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

「日本に来た外国人を支援する」が45.7%で最も高く、次いで「通訳・翻訳をする」が35.9%、「自分の国の文化や習慣を教える」が27.9%、「母語を教える」が26.6%と続いている。



(25) S I Aが提供するサービスの利用経験

Q14. 埼玉県国際交流協会が提供するサービスで、利用したことがあるものはどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

「利用したことがない」が74.5%となっている。

一方、利用したことがあるものは「外国人総合相談センター埼玉」が9.6%、「日本語の学習」が9.0%、「住まい・医療情報」が7.4%となっている。

